



地区計画だより

天応版

令和元年6月
発行 呉市復興総室
住所 〒737-8501
呉市中央4-1-6
電話 25-5623/5627

「呉市復興計画」を策定しました

平成31年3月27日に、呉市復興計画検討委員会第4回会議を開催し、呉市復興計画（最終案）について委員に了承をいただいた後、3月28日の災害復興本部会議を経て、「呉市復興計画」を公表しました。

この計画は、「住まいと暮らしの再建」、「災害に強い安全・安心なまちづくり」、「産業・経済の復興」、「今後の防災・減災に向けた取組」の4つの基本方針ごとに、今後、取り組むべき施策を体系的に定めたものです。

今後は、この復興計画に基づき、豪雨災害からの着実な復興に取り組んでいきます。

「呉市復興計画」は、市政だより6月号（5月10日発行）及び呉市ホームページに掲載するとともに、各市民センターに印刷したものを置いておりますので、ご自由にご覧になれます。

復興計画の策定経緯

月日	項目	協議・検討内容等
10月26日	検討委員会第1回会議	計画策定の基本的な考え方、復興に向けた4つの基本理念
11月28日	検討委員会第2回会議	豪雨災害の被害状況等、現地視察、復興計画の構成案
2月13日	検討委員会第3回会議	呉市復興計画（素案）
2月21日 ～3月22日	＜素案についての意見公募 パブリックコメントの実施＞	
3月27日	検討委員会第4回会議	呉市復興計画（最終案）

3月28日 呉市復興計画 策定及び公表



呉市復興総室
ホームページ
QRコード



▲ 復興計画検討委員会第4回会議の様子

復興に向けた基本理念と基本方針

【基本理念】

～災害に強い幸せで魅力的な都市を目指して～

- ① 被災者の方々が被災前の当たり前の生活を取り戻すこと
- ② 被災したインフラなどの早期の回復
- ③ 市民や企業が、イキイキ・わくわくと活動することができ、市民が今後も住み続けたいと思えるまち
- ④ 観光客が訪れてみたいと思えるような交流都市

【基本方針】

基本方針1

住まいと暮らしの再建

- ・被災者支援
- ・子ども・子育て支援
- ・廃棄物・土砂処理

基本方針2

災害に強い安全・安心なまちづくり

- ・土木施設等の強靱化
- ・公共施設等の強靱化
- ・上下水道施設の強靱化
- ・交通基盤の強靱化

基本方針3

産業・経済の復興

- ・地域産業の復旧・復興

基本方針4

今後の防災・減災に向けた取組

- ・防災・減災に向けた体制の強化

発刊に
当たって

特に大きな被害を受けた地区については、令和元年度中に地区計画を策定することとしており、その策定状況などをお知らせするため、「復興地区計画だより」を発刊いたしました。このお知らせは、呉市ホームページに掲載するとともに、天応・安浦市民センターへ配置し、天応・安浦地区の住民の方へは回覧、同地区で被災され、地区外で生活をされている方には郵送するものです。

地区計画策定のための第3回ワークショップを開催しました

呉市では、特に大きな被害を受けた地区の今後のまちづくりについて、※住民の皆さんや地域の関係者（自治会、民児協、女性会、消防団、小・中学校PTAなど）などのメンバーで議論し、復興に向けた提案をとりまとめるワークショップを開催しています。

開催地区：市原地区、中畑・下垣内地区、安浦駅周辺地区、天応地区

- 1回目：被害・避難・復興について
- 2回目：復興に向けた取組について
- 3回目：意見・要望の整理・集約、今後の実施に向けた具体案への整理
- 4回目（5月開催）：提案書のとりまとめ
- ⋮

「※住民の皆さん」の選定方法

地区名	抽出方法
・天応 ・安浦駅周辺	無作為抽出した世帯へ希望確認（約820世帯）
・市原 ・中畑 ・下垣内	全世帯へ希望確認（約120世帯）

メンバー
確定

これらのワークショップからの提案を基に、呉市復興計画検討委員会等の意見を踏まえ、今年度上半期を目途に、**地区計画**を策定します。



▲ 第3回ワークショップの様子（天応地区）

ワークショップとは、学びや創造、問題解決などの手法で、まちづくりの分野では、地域社会の色々な立場の人たちが、お互いの考え方・感じ方を知り、話し合いや協働作業などを通じて、考えを共有しながら、テーマに対する意見を造りあげていく活動です。

■ ワークショップの開催状況

	市原地区	中畑・下垣内地区	安浦駅周辺地区	天応地区
1	12月22日	12月22日	1月20日	1月20日
2	2月2日	2月2日	2月9日	2月10日
3	3月16日	3月16日	3月23日	3月24日

第3回までに出了された主な意見をご紹介します

第1班（地区全体）

- ・大屋大川と背戸の川を整備してほしい（立木、岩の早期撤去、拡幅、掘削）。
- ・工事用道路整備で縮小する公園用地を含めて、大西自治会館の拡張再整備。
- ・天応中学校の安全性の確認、現位置・代替地を検討する。

第2班（大西）

- ・砂防ダムの早急な整備と砂防ダム、山地斜面の堆積物の定期的な排除をお願いしたい。
- ・防災行政無線が聞こえないため、防災情報・避難情報の伝達方法の改善をお願いしたい。
- ・住宅の再建等に時間を要するため、仮設住宅の入居可能期間を延長してほしい。

第3班（東久保）

- ・消防車・救急車が通れる道の整備・拡幅をお願いしたい。
- ・地域で買い物ができるように移動販売・宅配サービスの導入。
- ・災害体験の伝聞、記録が重要である。

第4班（下西）

- ・仮設住宅、借り上げ住宅等の住居期間を延長してほしい。
- ・県道（天応・焼山間）を2車線化してほしい。
- ・サンワストアーの閉店に伴い、町内に商業店舗がなくなるため、商店や移動販売などを誘致してほしい。

第5班（大浜、三葉、本町）

- ・全ての災害復旧工事案件やその他の復興計画の情報を公開してほしい。
- ・子どもからお年寄りまで安心して集まれる避難所の見直し、新設を検討してほしい。
- ・地域・住民の方がスピーディーに対処できるものもあるので、行政以外が河川の整備作業を行える仕組みを作る。

第6班（宮町）

- ・JR盛土の下の排水路を改善してほしい。
- ・住宅再建、避難路の確保、緊急車両の通行のため、宮町に幅員4mの道路を整備してほしい。
- ・宮町の住民は、自宅に戻れない人が多く、離散している。まずは、人が戻ってこれる環境整備が必要。

今後、これらの意見を提案書としてとりまとめる予定です。